

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染に対する当院の対応強化について

VRE 感染症の発症が静岡県内で増加してきています。当院でも本年 7 月 21 日より入院患者様3名から VRE が検出されました。

VRE とは、ヒトの腸内にいる一般的な腸球菌のうち本来効くはずのバンコマイシンという抗生物質が効かなくなった細菌です(バンコマイシン以外の抗生物質で効く薬はあります)。健康な人が感染しても病気を起こすことはありません。しかし、免疫不全や体力の低下している患者様が感染すると病気を起こすことがあります。VRE は、VRE を持っているヒトの便から排出されほかのヒトに伝播していくため、手洗いが最も有効な予防策となります。

現在、感染拡大を防止するため、国立感染症研究所、東部保健所の専門家の方々の助言をいただきながら感染防止対策を強化しております。通常診療に支障はございません。当院では今までも院内感染予防の為入院時に咽頭培養検査を実施してまいりましたが、これに加えて入院中の患者様の便培養検査などにより VRE 感染の有無を確認していくこととしました。皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年9月25日

院長 齋藤 友治